



くらしの情報

令和5年度 消費者のつどい

南部地区 11月14日(火) 牟岐町消費者協会



南部の集い開催にあたり、活動行事が多い時期、多数のご参加をいただき、つどいを盛りあげてくださりありがとうございました。

出席者は193名で、にぎやかな会場でした。警察署の方のお話は、不審電話撃退装置を無償で貸出できるとの話に安心しました。意義ある消費者活動の継続を目指して活動していきたいと思えます。

(日高 琴美)

東部地区 11月29日(水) 石井町消費者協会



石井町長やご来賓をお迎えし、オープニングは和太鼓の演奏で元気をもらい開幕。徳島市、佐那河内村の活動発表。竹林再生会議代表理事長池奉成先生の講演、質疑応答で竹って本当にすごいと感心。講演活動報告に思わず頷き笑い、反省したりと楽しい会でした。

御参加の皆様ありがとうございました。

(武知 泰代)

西部地区 11月15日(水) つるぎ町消費者協会



西部地区は、美馬市とつるぎ町の活動発表の後、南極シェフとして南極で1年4ヶ月活躍された渡貫淳子さんを講師に迎え、「女性南極シェフが教える無理なく楽しい食品ロス削減への取組」という講演をしていただき、今問題とされている食品ロスへの取組や対策について学び、有意義な一日となりました。

(藤井 勝子)

北部地区 11月7日(火) 藍住町消費者協会



藍住町総合文化ホール 大ホールで開催しました。小ホールでは各地区の特産品販売、手作り作品展示、オープニングはエイサーでにぎやかに始まり、上板町・藍住町の活動発表のあと、教育情報化コーディネーターの中川斉史先生に「デジタル社会を満喫するための賢い消費活動とは」という演題でお話しいただきました。大変好評でした。

(前田 桂子)

「令和6年能登半島地震により被災された皆様へ」

令和6年1月1日午後4時10分頃に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧・復興がなされますことを、心よりお祈り申し上げます。

私たちも、復興支援商品を購入する等、折りに触れて被災地支援を続けて参ります。

東 部 地 区

石井町

令和5年11月29日石井町で東部地区消費者のつどいが開催された。会員たちでつどいをどのように開催するか？どのようなおもてなしをするか？企画構成からお土産作りまで話し合いを重ねた事で、会員間のチームワークがより強くなった。地区の方々の特産品販売も好評だった。ロビーには会員達の勉強会で作ったスカーフ、バッグ、小物等賑やかに展示した。役場の方々の協力も大変力になり、盛大に無事終了し、達成感で満たされた。令和6年度は、新会員を募集し、研修会・勉強会を続けていく。

(佐藤 安代)



神山町

コロナ禍で中断していた一日研修を4年ぶりに実施した。令和5年6月28日(水)7時に出発し淡路島へと向った。参加者は30人。早く着いたが、まずは淡路島牧場でバター作りの体験をした。容器を上下に強く振ること5分、クリーム状になるまでなかなか力がある。歳を取るとこんなにも力がないのかと少々情けなくなった。次に淡路ハイウェイオアシスで買い物と昼食。次はパルシェ香の館で自分だけのお香作りを50分楽しんだ。最後に道の駅「くるくるなると」で買い物。楽しい一日研修となった。

(阿部佐枝子)



佐那河内村

「佐那河内村の生ごみの取り組みと課題について」

現在、本村では生ごみを週1回専用集積所で収集し、運搬、焼却処分を行っている。元々はコンポスト、キエーロ、電気生ごみ処理器であったが、畑のない家庭の為に設けられた集積所である。しかし、高齢化もあり「便利だから」と集積所に出す人が増えてきた。私たち消費者協会会員は、コンポストやキエーロの使用を推進している。また、最近竹パウダーコンポストを活用する実証実験も始まっている。竹パウダーの効果により、臭いもなく、虫の発生もなく堆肥ができる。生ごみを土に返し、花壇や畑の土として、花や野菜を育てたいと願う。(長尾 久代)



徳島広域

当協会は、楽しくつどい学ぶをモットーに、偶数月に例会と学びの講座を年1回の総会と年2回の親睦会・研修会を行なっている。10月には『食品ロス削減・振り込め詐欺防止キャンペーン』・11月には秋の研修会として和歌山方面(黒江漆器の町並み、温山荘庭園、花王エコラボミュージアム)へ。花王では地球温暖化防止や環境問題・容器のエコ化やリサイクル等を楽しく学習することができ、良い天気にも恵まれ波も穏やかで楽しい船旅を満喫し充実した1日であった。春の研修会はグンゼ・福知山城を予定。(日下 輝也)



南 部 地 区

小松島市

11月26日(日)小松島市健康まつりでは消費者展のブースを出し、振込詐欺防止アンケートを実施し127人の回答を得た。50才代ではSMSでの不審なメールにすぐ電話をする、また、「消費者ホットライ



ン188」の認知度が低いことがわかった。若い世代への啓発の必要を感じた。手づくり部



では地震等への防災グッズとして、着なくなった上着に、袖から作った沢山のポケットを付けた「防災ベスト」を考案した。非常持出品は倒壊しない安全な場所（鉄骨作りやビニールハウス等）に保管する必要がある。

(里村 真澄)

海陽町

当協会では、8月に生ゴミ処理器キエーロの製作に取り組んだ。家庭から出る生ゴミを燃やすには、多額の焼却費用が掛るが、キエーロで分解することで土として利用できる。地球温暖化防止、食品ロス削減につながって欲しいと感じた。11月には食肉セミナーを開催、県内産豚肉・牛肉の料理教室を通して美味しさに舌鼓みした。1月には歌声広場と消費者問題を考える会を開催。昔懐かしい曲を楽しく歌い賑わった。また、最近の詐欺がどのような傾向にあるのかを勉強した。参加できなかった人にも今後啓発していきたい。

(三間 幸子)



西部地区

鴨島町

4月、当協会総会において講演会（吉田修先生による『未来の選択』）。6月、研修会（公正取引委員会による『ウソつき広告にご注意！』）。7月、体験学習（クラフトバンドとペットボトルのふたを利用したブ



ローチ作り)。9月、研修会（吉野川市防災対策課による『防災について』）。11月、研修旅行（自然エネルギー利用施設見学・渦潮クルーズ体験）。12月、料理教室（米・米粉料理）。これからも魅力ある活動内容を工夫し、安心・安全かつ豊かな消費生活を送れるような活動を進めたい。

(後藤田佳代)

美馬市

4年ぶりに、視察研修を実施。コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、工場見学等は無理とのことで、桂浜・牧野博士ゆかりの地の散策となった。十分に自然を満喫し癒された。

11月には、西部のつどいに参加し南極シェフの渡貫淳子氏の「無理なく楽しい食品ロス削減への取り組み」を拝聴。過酷な環境下で食材の購入・食事づくり・残飯の処理等に並ならぬ苦労と工夫を学んだ。

現在日本では年間500万トンの食品ロスがあり、半分は家庭から出ている。月1回の料理教室において、実践しているが、まだ考慮すべき点がある。これからも見直し、地域・家庭へ繋ぎ少しでも削減できればと思った。

(逢坂 洋子)



川島町

当協会は、令和5年10月9日、10時から、阿波吉野川警察、補導員、会員の方々の参加を得て、ひまわり川島店前で、振り込め詐欺防止・食品ロス削減キャンペーンを実施。チラシを配布し、啓発を行った。買い物客の男性の方で、スマホのメールの件で警察の方に相談している方もいた。

私たちの活動が、被害防止に繋がる事を祈っている。（大久保光江）





防災対策はいろいろあり、お金と時間のかかるものもありますが、手軽なものから取り組みましょう。まずは、お住まいの地域でどんな災害リスクがあるか、ハザードマップで確認してみましょう。県立防災センターや市町村のホームページで確認できます。津波による浸水区域なのか、洪水や土砂災害等のリスクがあるのか確認できます。合わせて「避難場所」、そして避難生活を送る「避難所」の場所や経路も確認しておきましょう。いつも家族一緒にいるわけではないので、集合場所も予め決めておきましょう。

次は、市町村によっては助成のある家具の固定、家の耐震化や、火災保険・地震保険への加入です。

さらに、備蓄も重要です。県や市町村でも避難所向けに備蓄していますが、最低でも3日分、また、道路が寸断されて物資が届けられない場合もありますので、できれば1週間分の備蓄をお願いします。

ご家庭での訓練としては、食料、水道、電気、ガス、通信、トイレ等、生きていく上で必要なものが、無かったり、使えなくなったらどうなるのか、平时に試して

みることです。平时に電気や水道を使わず過ごしてみ、何が必要なのかシミュレーションしてみましょう。

こうした取組について、県立防災センターのホームページで紹介しておりますし、令和6年3月には、防災対策の初級編として、1本5分程度の動画シリーズ10本をYouTubeに公開したところですので、ぜひご覧いただくとともに、行動に繋げてください。

1995年の阪神淡路大震災で助かった方の大半が地域住民による救助（共助）でした。普段から地域（自主防災組織や町内会等）の防災活動に参加して、地域で支え合える関係作りをしておくことが非常に重要です。防災情報がプッシュ型で通知される徳島県の公式LINEの登録もお忘れなく。

同センターHPのURL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/bousai-center>

令和6年元日に、石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生。それに続くように、全国各地で地震が頻発して起こっています。これを受けて、私たちが日頃から「家庭や地域で出来る防災対策」について考える機会としていただきたいと思います。

一日研修旅行

12月6日(水)、令和元年以来となる研修旅行。12月にもかかわらず、暖かい日差しにも恵まれ、素晴らしい景色を見ながら神戸方面へ。

淡路島の産直市、美菜恋来屋(みなこいこいや)で特産の玉ねぎ等を沢山購入。お昼は神戸西神オリエンタルホテルでバイキングを堪能。午後は、かねふくめんたいパークで明太子の製造過程を見学。心もお腹も満たされ、充実した研修旅行となった。



情報掲示板

徳島県消費者情報センター

義援金等を装った詐欺に注意!

この度の地震を受けて、被災地の復興に向けた義援金の募集が行われています。過去の災害では、市役所などの公的機関や災害支援団体をかたがて電話、訪問、メールを送るなどして義援金を募る「義援金詐欺」の相談が多く寄せられました。公的機関等が電話や訪問等で義援金を求めることはありません。不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断りましょう。

また、地震発生後すぐにSNS上で実際の被害と異なる訴えをし、今後の活動資金のための寄付と称して電子マネーの送付を求める、悪質な投稿が出回っているとの報道がありました。メールやSNSに記載されているサイトのアドレスに安易にアクセスしたり、連絡を取ったりしないようにしましょう。

義援金を募集する団体の活動状況や使い道、信用できる団体か等を事前に確認し、納得した上で義援金を送るようにしましょう。何か不審な点があれば、消費生活センターにご相談ください。

(メールマガジン1月16日配信)

令和6年度消費者月間統一テーマ

「デジタル時代に求められる消費者力とは」

令和6年度 行事予定

■2024第20回消費者まつり

と き：令和6年5月25日(土)
と ころ：ふれあい健康館

■徳島県消費者協会総会

と き：令和6年5月21日(火)
と ころ：とくぎんトモニプラザ
(アミコビル東館9階)

■徳島県消費者大学校

と き：令和6年6月7日、14日、21日、28日、
7月5日、12日、19日、26日の各金曜日 計8回
と ころ：とくぎんトモニプラザ (アミコビル東館9階)

■徳島県消費者大学校大学院

と き：令和6年9月6日、13日、20日、27日、
10月4日の各金曜日 計5回
と ころ：とくぎんトモニプラザ (アミコビル東館9階)